

教育研究業績概要

氏名 瀧本 未来 ()				
研究分野		所属学会等の名称		
健康・スポーツ科学				
担当授業科目名 スポーツ健康科学、スポーツ科学実習、フィットネス・スポーツ特論Ⅰ・Ⅱ、スポーツ鍼灸学				
教育上の能力に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 教育の実践例、教育に関する評価等 授業の工夫	2019	鈴鹿医療科学大学で開講の「スポーツ科学実習」において、実習の初回と最終回に体力測定を行い学生が各自の体力の現状や向上度を客観的に把握できるようにしている。「スポーツ・フィットネス特論」では定期的に行なっている小テストの解説を学生自身が他の学生に対して行う等のアクティブラーニングを実施している。		
2 作成した教科書、教材、指導書等				
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等				
・奈良県立御所実業高等学校ラグビー部 非常勤トレーナー	2014	練習・遠征・合宿時の応急処置、身体のケア、トレーニング指導、アスレティックリハビリテーション 等		
・公益財団法人全日本ボウリング協会トレーナー 強化委員会・競技力向上部会員	2015	遠征・合宿時の応急処置、身体のケア、トレーニング指導、講習会講師 等		
・2020 東京オリンピックあいちジュニア 強化指定選手育成事業 測定スタッフ	2017	アスリートを対象とした各種体力測定における測定検者、測定結果に関する説明、助言		
職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項				
事 項	年	概 要		
1 資格、免許、特許、受賞等				
1) NSCA-CSCS	2014	全米ストレングス&コンディショニング協会認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト		
2) JSPO-AT	2017	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー		
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等				
日本オリンピック委員会強化スタッフ (医・科学スタッフ)	2015	日本オリンピック委員会		
研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等	単・共著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書)				
・JBC コーチングマニュアル エクササイズ編	共著	2017	公益財団法人 全日本ボウリング協会	翻訳 瀧本未来, 小杉雅彦, 1-58
(報告書等)				
学術論文 学会発表等の題名		発表者名		発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等
(学術論文)				
・トレーニングがラット血清 FGF23 濃度に及ぼす影響:ジャンプトレーニングをもちいて		本田亜紀子, 瀧本未来, 梅村義久 他 3 名		中京大学体育研究所紀要 第 27 号 51-54
・2020 年東京オリンピック・パラリンピック愛知選手強化事業におけるジュニア選手の競技力向上に関する報告		小嶋俊久, 松尾浩世, 瀧本未来 他 5 名		スポーツ医・科学 第 29 号 21-34

<p>(学会発表等)</p> <ul style="list-style-type: none"> •The Effect of High Intensity Intermittent Training by the Running on Endurance Performance in Ball Games. • The effect of aroma compounds on the discomfort while icing. 	<p><u>Miki Takimoto</u>, Takahito Iga, Yoshihisa Umemura</p> <p><u>Miki Takimoto</u>, Kei Sato</p>	<p>18th annual Congress of the European College of Sport Science (ECSS), Barcelona, 2013</p> <p>50th International Symposium on Essential Oils, Vienna, 2019</p>
<p>(その他)</p>		